

補助 IPプロデュースコース設置 (実施団体:学校法人 松蔭女子学院)

目的・目標

本コースは、コンテンツ分野におけるIP（知的財産）の開発・育成からグローバルな展開まで、ビジネス全体をプロデュースできる人材の育成を目的とする。国際的な舞台で活躍できる総合的な能力を構築するためには、国内外の産官学連携を強化し、世界最大級のBtoB国際展示会に出展する。国際市場におけるビジネスプロセス全体を体験し、国際的なビジネス感覚と課題解決力を養う機会とする。国内外にIPビジネスプロデューサーを輩出する。

概要

国内のIP分野の人材の不足は顕著であり、一般的なコンテンツ分野（アニメ、ゲーム、音楽等）においても同様の状況である。魅力的な作品作りを維持し、海外展開に強化していくためには、それらに精通した人材育成が必要である。IPの開発・ライセンス管理等を学び、海外進出の足掛かりを作る。さらに、コンテンツの制作はもとより、法律、経営、メディアミックスなどに精通した人材は、即戦力としてプロジェクト全体のマネージメント、さらには経営に参画することができる。

3年目までの取組

令和7年度は、令和8年度から「IPプロデュースコース」の学生募集を開始するために、入学募集やカリキュラム調整を行う。令和9年度からは、社会人向けのリカレント、リスキング教育や中等教育向けの探求型授業プログラムを実施する。また、パリの「Maison & Objet」などの世界最大級のトレードショーに試験的なプリテスト出展を行い、その後、ヨーロッパでのIPビジネスやメディアミックスの現状を視察する。

5年目までの取組



学生が企画・制作・販売を行う神戸松蔭タータンアイテム国際見本市に出展する作品（例）

令和10年度は、世界最大級のトレードショー出展とそのための商品開発を行う。フィンランドにおけるIPビジネスやメディアミックスの現状の調査・研究も随時行い、グローバルな感覚と世界のIPの状況を肌で感じる。帰国後、報告会や成果発表会を開催し外部評価を受ける。令和11年度は1期生の卒業を迎えるため、キャリア支援課による就職活動のサポートも充実させる。所定の単位を習得した者は、大学からIPプロデュースコース修了によるディプロマを授与する。



IPプロデュースコース設置のリーフレット

(区分・分野)

・デザイン・ファッション

(対象となる職種)

・企画職、広報職、販売職、営業職、生産技術職、購買職、研究開発職など

(育成人数)

・185名/3年

成果目標（見込）

目標値

国際的な活躍に必要なスキル習得のために開発・実証された育成プログラムの数
3年目：3件
5年目：1件

国内外の教育機関・専門機関・企業・団体等との連携数
5年目：5件

育成プログラムの参加者が世界的に認知されている海外の芸術祭・文化施設・大学等の教育機関への参画や招へいを受けた件数
3年目：1件
5年目：1件

育成プログラムの実証に参加した人数
3年目：185人
5年目：345人

中核となる指導者等

・石田原 弘

長年、ファッション業界におけるブランドビジネスに従事、昨今は神戸タータンや神戸松蔭タータンの開発に携わり、ブランディング、IPの育成などを進める。慶應義塾大学経済学部（神戸松蔭大学 特任教授）



国際的な場での実践の取組例

Maison & Objet（パリ）などの世界最大級のトレードショーにプリテスト出展。商品企画、事業収支計画、ロジスティックス等のシミュレーションを行う。（3年目9月）



ライツ・アンド・ブランド社のJapan Expo (2024パリ)展示会事例

実施体制

